

トイレ介助マニュアル

A 手引き

B 歩行器

C 車椅子

A B C どれがよいか節子に確認する ***排便の場合は迷わずナースコール！**

① 立ち上がる

節子が座ったままでイスの脚（右前）を持ってできるだけトイレ側に回転。向かい合って手を差し伸べお互いの手がヒジをつかむようにして立ち上がりを補助。

② トイレまで移動する

「8歩ずついくよ。せーの！1,2,3,4,5,6,7,8」を繰り返し、ペーパーホルダー傍の手すり（縦横L字）に節子の手が届くところまで手引き歩行します。

③ 便座に座る～排泄（必要に応じてパッド交換）

手すりにつかまったまま便座に腰掛けるので、ギリギリまで近づかせる。節子がしっかり立っているか（膝が伸びているか）を確認後、ボトムスとリハパンを膝までおろしてやると、節子が自分で腰掛け排泄します。**【注意：リハパンは便座着地ギリギリにおろすこと！→早めにおろすとオシッコがもれる可能性あり。リハパン・ボトムス・靴下などの着替えまですることになる】**

パッドを確認し、排尿があれば新しいパッド《@衣装ケース》に取り替え、汚れたパッドは黒ポリ袋《@手すりのカゴ》に入れる。排便（拭き残し）の場合はおしりふき《@衣装ケース上》で拭いてやる。***黒ポリ袋（排泄ゴミ）はEV横のスタッフルームのゴミ箱へ。**

排泄後は③→②→①の順で対応。 洗面台で手洗い or ウェットティッシュを渡して手をふかせる。

① 立ち上がる

節子がテーブルの両脇を持って自立。立てないときは介助者が後方から脇の下に腕を入れ、立ち上がりを補助。「いち・に～の・さん！」の声かけがあるとベター。

② トイレまで移動する

見守りのみ。節子自身で、衣装ケース前に歩行器を止め、折りたたみ手すり→ペーパーホルダー傍の手すり（縦横L字）を伝って便器まで行きます。

① 立ち上がる

節子がテーブルの両脇を持って自立。立てないときは介助者が後方から脇の下に腕を入れ、立ち上がりを補助。「いち・に～の・さん！」の声かけがあるとベター。

② トイレまで移動する

ペーパーホルダー傍の手すり（縦横L字）に節子の手が届くところまで車椅子で移動してやると、節子が自分で立ち上がります（必要に応じて補助）。